

会 社 名 株式会社トミー
コード番号 7867
問合せ先 常務執行役員
松葉 光雄
TEL (03) 3593 - 1031

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 13年 8月 7日に公表した業績予想および平成 13年 5月 7日に公表した配当予想を下記のとおり修正します。

記

1. 14年 3月期通期業績予想の修正(平成 13年 4月 1日 ~ 平成 14年 3月 31日)

(1) 連結

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 13年 8月 7日 発表)	70,800	700	350
今回修正予想(B)	60,600	△ 1,700	△ 1,500
増減額(B-A)	△ 10,200	△ 2,400	△ 1,850
増減率	△ 14.4	-	-
前期(平成13年 3月期)実績	89,971	5,595	3,490

(2) 単体

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 13年 8月 7日 発表)	43,100	500	280
今回修正予想(B)	38,200	△ 900	△ 850
増減額(B-A)	△ 4,900	△ 1,400	△ 1,130
増減率	△ 11.4	-	-
前期(平成13年 3月期)実績	53,715	3,265	1,768

(3) 修正理由

・連結

ディズニー関連商品や超小型ラジコンカー「ビットチャージャー」などの売上は、好調に推移し前回予想を上回ると予想されます。しかし、海外主体のベビー・プリスクール商品やロボット、ゾイドなどを始めとした、その他の商品が下期に入り玩具市場最大の山場となる年末・年始商戦向け売上においても、全般的に振るわず、今期の売上高は前回発表予想を下回る見込みとなりました。

利益面では、売上減に単体およびフランスの販売子会社等の在庫処分の拡大が加わるために、販売費及び一般管理費の負担を吸収できず、前回発表予想を下回り、経常損失及び当期純損失となる見込みであります。

・単体

売上については、概ね連結と同様であります。

利益面では、子会社等の在庫処分損を除き、連結と同様の理由により、前回発表予想を下回る見込みであります。

2. 14年 3月期末の1株当たり配当予想の修正(平成 13年 4月 1日 ~ 平成 14年 3月 31日)

(1)修正内容

(単位:円)

	中間期	期 末	年 間
前回発表予想(A) (平成 13年 5月 15日 発表)	15.00(実績)	15.00	30.00
今回修正予想(B)	—————	5.00	20.00
前期(平成13年 3月期)実績	15.00	15.00	30.00

(2)修正理由

上記の通り、平成14年3月期の業績は大幅に悪化する見込みであるため、配当予想を修正することいたしました。

3. 今後の対策

業績改善に向け、売上向上とオペレーションコスト削減の両面から対策を講じてまいります。

まず、売上向上に向けましては、「ヒット商品を創り出す環境作り」を経営テーマに、環境変化に迅速に対応できる組織体制に再編成し、企画・営業両面でのマーケティング機能を強化いたします。また、企画をサポートする開発子会社トミーデベロップメントセンターのさらなる強化を図り、これによって、お客様の視点に立ち、市場ニーズに合致した商品開発に努めてまいります。

さらに生産面でも、生産拠点である中国シンセンに生産技術センター機能を移設し、少ロット・多品種・短納期に対応できるフレキシブルな生産体制の確立と製造コストの大幅削減を目指してまいります。

一方、オペレーションコスト削減に向けましては、今期連結業績悪化の主要要因となったフランス販売子会社をイギリス販売子会社と機能統合し、オペレーションコスト削減とともに、在庫管理の徹底を推進してまいります。

さらに単体におきましても、業務改革・コスト削減を主体としたプロジェクトを編成スタートさせ、オペレーションシステムの改革とコスト削減を継続的に推進してまいります。